光葉ワーキングクラブメールマガジン

<2023年4月号>



190号 2023.04.03 配信

咲き誇る桜に見守られ、希望にあふれる春を迎えました。万物が清らかで生き生きとした清明(清浄明潔)の季節になりました。コロナ禍も4年目となり、マスク着用は個人やご家庭の判断が基本となり、主体的な選択が尊重される様になりました。

新年度が始まり、真新しいランドセルを背負った新1年生の可愛い姿を見かけるのが楽しみです。学内では、てるてるテラスに集う子どもたちが季節の木々や草花に囲まれ、春の息吹を全身に感じて元気いっぱいに活動する姿が見られるでしょう。子どもたちを見習って、大人の私たちもそれぞれに何らかの目標を持ち、本年度を元気に過ごしましょう。

(小学校教職員ネットワーク)

■同窓会だより

◇光葉同窓会入会式

3月16日の卒業式に引き続き、63名の新幹事の紹介と、 第2緞帳の前にて光葉同窓会入会式を行いました。

◇卒業式と入学式に支部会から祝電

卒業式では39支部から、入学式では33支部からお祝いのメッセージをいただきました。 会場の人見記念講堂ロビーで祝電を並べて披露しました。



- ◇光葉同窓会報100号発行
- ◇全国支部長会 日時:5月20日(土) 14:00~16:30 場所:品川プリンスホテル
- ◇第50回光葉同窓会総会·懇親会

日時:5月21日(日) 10:30~14:30 会場:グリーンホールと学園本部館中・大会議室 新体制光葉同窓会創立50周年記念の楽しい企画を準備しています。

◇光葉同窓会創立50周年記念企画「ボストン・ニューヨークの旅」

詳しい日程や費用については、間もなくホームページに掲載します。

- ※4月のワーキングネットワーク活動はありません
- ※4月29日(土)~5月7日(日) 同窓会事務局はお休みいたします

■ 広げよう光の葉

古川 智子 さん

2001年 英米文学科卒

「世界を舞台にする世の光となるリーダーとしての資質について」

昭和女子大学を卒業後、日本で社会人を2年経験し、人生の半分以上はアメリカ人として、アメリカに滞在しています。現在は、デルタ航空会社でフライトアテンダントとして12年勤続しています。日本語通訳として日本線に4年間乗る機会を得ました。その4年間に勤続40年から50年以上のアメリカを代表するフライトアテンダントの方々と勤務を共にし、非常に貴重な体験ができました。それがきっかけで、一流のフライトアテンダントになることが私の夢になりました。

学生時代に金子朝子先生に「あなたがボスになったら、怖いから皆がついてくるわよ」 と言われて、この仕事で一流になるための最初の難関の 10,000 時間を突破しました。

現在は4年間の日本線の乗務経験を活かし、国内線チームのリーダーとして仕事をしています。機内サービスの250パウンドの重さがあるカートを押し引きできる腕力と脚力、国内外の時差に対応できる基礎体力、十人十色にカスタマイズされた接客を創造する思考力が身につきました。飛行機が苦手なお客様の心のケアをする係、機内トイレのお掃除係、暇つぶしの雑談相手、案内や苦情承り係、個人のメンタル問題のカウンセラーなど仕事は多岐に渡ります。最も大切な非常緊急事態の対処、医療緊急事態の人命救助、さらに護身術も身につけます。

また、リーダーとして、Z世代の新人から70歳過ぎの世界中から集まった毎回違うクルーとチームを組みます。空に飛び立てば、救急車も警察も空に呼べない中で多くの資質が求められます。言語と文化の壁を超え、人を注意深く観察する読心術と個人の仕事の能力に特化した特技を見極める力、会社のポリシーと米国航空局規定にそった適材適所の人材を的確に仕事に当てる正しい判断力も必要です。

昭和ボストン留学時に、私のメンターとして、私の人格の核作りに大きく貢献してくださった今は亡き、私にとっては「人間国宝」のバーカス先生には「知は力なり。たくさんの名著を読み、できるだけたくさんの知力を身につけなさい。」と教えていただきました。

急速に世界の基軸が大きく変わろうとしている激動の未来への備えには、世界史、地政学、ビジネス、リーダーシップ、心理学、コミュニケーション力、ファイナンシャルリテラシーが求められると思います。そして、知的総合力を積み重ねて学習し続けること、物事の本質を理解する鑑識眼力、柔軟に対応できる品格を兼ね備えた真摯な態度で相手の話が聞けること、若手の人材を育てる力を統括し人望を集める世界に通用するグローバルリーダーの資質が必要だと思います。私自身も更に自分を高めて進みたいと思います。【End】

※メールマガジン 191 号は、5月8日(月)に配信します

メールマガジンを読んでのご感想、ご意見をお寄せください